

事例報告② 生徒指導におけるコグトレの取り組み

医療法人 藤美会 こころのクリニックそら 野尻 薫
大阪府富田林市立彼方小学校 生徒指導担当 加木 圭司



生徒指導上の集団指導と個別指導の三つの目的

「成長を促す指導」、「予防的指導」、「課題解決的指導」

文部科学省資料「生徒指導提要」 平成22年3月
第4節 集団指導・個別指導の方法原理 より

本校では、4年生から5年生になる学年児童全員にCOGETの「記号さがし」、「最初とポン」、「最後とポン」を用いてアセスメントを行いました。取組のねらいは、クラス全員でコグトレに取り組み、認知機能の向上を通して、「**個人の成長**」と「**集団の成長**」を目指しました。

①取り組み

「記号さがし」、「最初とポン」、「最後とポン」

※1日5分程度を取組時間とし、できるだけ担任の先生の負担が無いようにした。

②成果（教室の児童全てにコグトレを実施することで）

★それぞれの児童のアセスメントの精度を高めることができた。

★課題などを一生懸命する児童で、がんばっているのに思うほど結果が伴わない児童への声掛けが増えた。

★児童の実態がはっきりしてきたことにより一斉授業で、指導言や授業の展開、課題の提示方法などで工夫することができた。

③課題

★一人ひとりを観察したときに、一斉に課題に取り組んでみたものの課題レベルに合っていない児童がいる。

➡（対応）個別に声掛けをし、目標となる数値や時間の設定が必要。

★クラス一斉実施となると、回収して分析が必要となるため、学年、組、番号、名前などを書く場所を設けておく準備が必要。

➡（対応）事前準備したものをデータ化しておき、繰り返し活用する。

④まとめ

それぞれの課題に取り組んだ結果を分析すると、課題によって得意と苦手があり、指導の展開で個の特性に応じたより細やかな配慮ができるようになった。そして、COGETを引き続き取り組むことで認知機能の向上が期待でき、集団の形成に有効だと感じた。また、今回取り組んだCOGETだけではなく、教室でできるCOGOTに取り組み、さらなる認知機能の向上に取り組んでいきたい。